

# 御 結 納 申 込 書

平成 年 月 日 NO ネット

様

受付	確認
----	----

平成 年 月 吉日 氏名 殿	右幾久敷御受納相成度候 一、清酒料(柳樽料) 一、松魚料 一、松魚料	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">福</td><td style="width: 10%;">御</td><td style="width: 10%;">ハ</td><td style="width: 10%;">バ</td><td style="width: 10%;">大</td><td style="width: 10%;">角</td><td style="width: 10%;">化</td><td style="width: 10%;">帯</td><td style="width: 10%;">留</td><td style="width: 10%;">白</td><td style="width: 10%;">反</td><td style="width: 10%;">イ</td><td style="width: 10%;">ネ</td><td style="width: 10%;">登</td><td style="width: 10%;">共</td><td style="width: 10%;">銚</td><td style="width: 10%;">子</td><td style="width: 10%;">寿</td><td style="width: 10%;">高</td><td style="width: 10%;">結</td><td style="width: 10%;">小</td><td style="width: 10%;">寿</td><td style="width: 10%;">熨</td><td style="width: 10%;">目</td> </tr> <tr> <td>榎</td><td>香</td><td>グ</td><td>増</td><td>盃</td><td>樽</td><td>粧</td><td>品</td><td>袖</td><td>地</td><td>物</td><td>ゲ</td><td>ス</td><td>恵</td><td>質</td><td>子</td><td>婦</td><td>女</td><td>砂</td><td>和</td><td>美</td><td>料</td><td>恵</td><td>斗</td><td>録</td> </tr> <tr> <td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td><td>封</td><td>封</td><td>封</td><td>連</td> </tr> </table>	福	御	ハ	バ	大	角	化	帯	留	白	反	イ	ネ	登	共	銚	子	寿	高	結	小	寿	熨	目	榎	香	グ	増	盃	樽	粧	品	袖	地	物	ゲ	ス	恵	質	子	婦	女	砂	和	美	料	恵	斗	録	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	封	封	封	連
福	御	ハ	バ	大	角	化	帯	留	白	反	イ	ネ	登	共	銚	子	寿	高	結	小	寿	熨	目																																																					
榎	香	グ	増	盃	樽	粧	品	袖	地	物	ゲ	ス	恵	質	子	婦	女	砂	和	美	料	恵	斗	録																																																				
台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	封	封	封	連																																																				

受 承 日	平成	年	月	日
挙 式 日	平成	年	月	日
御 結 納 日	平成	年	月	日
御結納セット種類	セット			

受書の代書	あり・なし	名前完成	名前空欄
家族書の代書	あり	なし	
親族書の代書	あり	なし	
受書セット	セット		

(注) 御名前は正確にお書き下さい。

ふりがな 当 方 (新郎側)		様
ふりがな 先 方 (新婦側)		様

小袖料(宝金)	円也
清酒料	円也
松魚料	円也
金額目録に記入の場合は○印	

### ※ 附 帯 飾 り 台

品 名	数量	金 額	品 名	数量	金 額	品 名	数量	金 額
結納セット		千 円	反物台		千 円	御香台		千 円
結美和台			白生地台					
高砂			留袖台					
寿留女婦			帯台					
銚子台			化粧品台					
共白賀台			角樽			函代		
登慶恵台			大盃			受書セット		
ネックレス台			バッグ増利 セット台			代書代		
イヤリング台			ハンドバッグ台			合計		

代金 済 円	内金 円	残 円
御結納お渡し日	平成 年 月 日	午前 午後 御来店 配達
お客様ご住所		TEL
摘 要		受 承 者

# 結納セット・受書 代書(目録書／受書) 申込書

御帯料は、男性から女性側に納める場合  
御袴料は、女性から男性側に納める場合に  
ご記入ください。

## ◆目録書

長熨斗	
一 御 帯 料	壹封 <input type="checkbox"/>
一 御 袴 料	壹封 <input type="checkbox"/>
一 勝 男 節	壹封(壹連) <input type="checkbox"/>
一 寿 留 女	壹封(壹台) <input type="checkbox"/>
一 子 生 婦	壹封(壹台) <input type="checkbox"/>
一 共 白 賀	壹台 <input type="checkbox"/>
一 未 廣	壹封 <input type="checkbox"/>
一 家内喜多留	壹封(壹荷) <input type="checkbox"/>
以上	

右幾久敷御受納相成度候  
平成  年  月 吉日

下記は、男性本人  
または親の氏名

殿 上記には、女性本人  
または親の氏名

※金封の中包みに金額をご記入になられない場合は、「壹封」と記入させていただきます。

御 帯 料	御 袴 料	円也
勝 男 節	料	円也
寿 留 女	料	円也
子 生 婦	料	円也
家 内 喜 多 留	料	円也

## 目録書の書き方

- お名前は正確にご記入ください。
- 記載品目の内、必要な品目のみ  内に  
○印をお付けください。
- 品目が七品の場合には、九品から勝男節  
と家内喜多留を省きます。
- 品目が五品の場合には、九品から勝男節、  
家内喜多留・寿留女・子生婦を省きます。
- 御帯料(御袴料)をご記入ください。
- 勝男節料、寿留女料、子生婦料は、各々  
三千元か五千元を贈るのが一般的です。
- 家内喜多留料は、結納金の二%か五%を  
贈るのが一般的です。(例えば結納金が  
百万円の場合には三万円か五万円。)
- 勝男節、寿留女、子生婦、家内喜多留を  
お金でなく、現品にされる場合には、  
( )内の単位になります。いずれかを  
○で囲んでください。

## 受書の書き方

- 記載内容は目録書と同じですので、年月  
及び氏名のみご記入ください。
- 目録書及び受書は、印刷物を使用いたし  
ますが、年月及び氏名欄は、毛筆にて記入  
させていただきます。

## ◆受書

同 右

右幾久敷受納仕候  
平成  年  月 吉日

下記は、女性本人  
または親の氏名

殿 上記には、男性本人  
または親の氏名

関東地方には、結納を取り交すというしきたりがあります。  
男性側が女性側に納める場合は、御帯料と記入し女性側が  
男性側に納める場合は、御袴料と記入します。その場合でも  
受書はお互いに取り交します。

お申込み	結納セット	ご注文番号	—
	受書	ご注文番号	—
ご結納	年月日	平成	年 月 日
ご希望	出荷日	平成	年 月 日

店 名	<input type="text"/>
-----	----------------------

※代書の納期は、お申込み後 約2週間を要します。あらかじめ余裕を持ってお申込みくださいますようお願い申し上げます。



# 親族書・代書 申込書

## 親族書

父方

母方

以上

### 親族書の内容

- 「本人との続柄住所氏名などを記入します。」
- 「本人の両親の兄弟は「伯父」「伯母」、本人の両親の弟妹の場合は「叔父」「叔母」と記入します。」
- 「親族書には本人から父を「おじ」「おば」など三親等まで記入します。」

### 親族書の書き方例

親族書	
父方	大府市西町竹見台三丁目二ノ六八
伯父	竹本 貞治
大府市中央区尾崎町五丁目二ノ三	
伯母	谷口 輝雄
大府市東区住吉四二ノ九三〇号	
叔父	竹本 文雄
江美	
母方	奈良県高市郡上牧町上牧八ノ二九
伯父	中村 弘志
大府市東区南町六ノ四	
叔母	宇都宮 千鶴

以上